

# 東邦大学学術リポジトリ



## OPAC

東邦大学メディアセンター

タイトル	第2回東邦大学小児医療研究会プログラム
作成者（著者）	東邦大学医学会編集委員会
公開者	東邦大学医学会
発行日	2018.06.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 65(2). p.116 118.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	学会抄録(分科会)
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	<a href="https://mylibrary.toho.u.ac.jp/webopac/TD37000405">https://mylibrary.toho.u.ac.jp/webopac/TD37000405</a>

10. CBCL データについての検討

東山ふきこ (佐倉病院心理士)

座長：小松陽樹 (佐倉病院小児科准教授)

11. 過去 20 年の当院で経験した SJS のまとめ

本山みどり (大森病院小児科)

12. RSV 感染症と hMPV 感染症の入院患者における臨床比較検討

伊藤智恵子 (大橋病院小児科)

13. C. difficile 感染症マウスモデルにおける内因性インターロイキン 17 の役割

中川知亮 (大森病院小児科) 大学院生研究報告

座長：清水教一 (大橋病院小児科准教授)

14. 当院における過去 10 年間の Wilson 病治療の臨床検討

星野廣樹 (大橋病院小児科)

15. 院内 CAPS の取り組み—ハイリスク分娩児の短期予後—

小嶋靖子 (大森病院小児科)

特別講演

座長：松裏裕行 (大森病院小児科准教授)

臨床研究論文を日常診療に生かすためには—Critical appraisal のスケー

国立成育医療研究センター 臨床研究開発センター  
開発企画部 臨床研究企画室 室長 小林 徹

閉会の挨拶 館野昭彦

---

## 第 2 回東邦大学小児医療研究会プログラム

開会の挨拶 小原 明

座長：二瓶浩一 (大橋病院小児科講師)

1. 新生児集中治療室におけるレスピアの使用とその考察

石田早祐美 (大森病院周産期センター薬剤部)

2. 成人期発症川崎病患者の特徴について

林 歩美 (大橋病院小児科)

3. デクスメデトミジン離脱症候群予防をめざした漸減中止法の有効性

矢内 俊 (大森病院小児科)

4. 肺動脈性肺高血圧症における QOL に影響する因子

池原 聡 (大森病院小児科)

清慧会総会

座長：黒岩 実 (大森病院小児外科教授)

5. 移植前に経管栄養を行っていた小児慢性腎臓病患者の移植後栄養管理に関する検討

高橋雄介 (大森病院小児腎臓病学講座)

6. 当科小児急性虫垂炎の待機的虫垂切除術、緊急手術の検討

山崎信人 (大森病院小児外科)

7. 過去 10 年間における当院での消化器内視鏡症例の検討

那須野聖人 (大橋病院小児科)

座長：高橋浩之 (大森病院小児科准教授)

8. 中心静脈カテーテル留置における菌血症発症リスク因子

判治由律香 (大森病院小児科)

9. 大学病院における多職種参加型感染対策グループの取り組み

長 順子 (大森病院 2 号館 4 階看護師)

10. 造血再構築における新規標的分子としての胆汁酸研究

羽賀洋一 (大森病院小児科)

座長：清水教一 (大橋病院小児科准教授)

11. 小児期発症の Graves 病の転帰

吉澤和子 (大森病院小児科)

12. 小麦アナフィラキシー患者の予後による臨床像

藤巻有希 (大森病院小児科)

13. 小児期発症 Wilson 病症例の臨床的特徴に関する検討

鶴岡美来 (大橋病院小児科)

座長：館野昭彦 (佐倉病院小児科教授)

14. 当院における 18trisomy 症例の臨床的検討

森谷菜央 (大森病院周産期センター)

15. 成人期へ移行した小児期発症てんかん症例の検討

福士茉莉子 (佐倉病院小児科)

16. 抗グルタミン酸受容体 N1, N2B, D2 抗体が検出され、異なる臨床経過を辿った慢性小脳炎の 2 幼児例

星野廣樹 (佐倉病院小児科)

特別講演

座長：松裏裕行 (大森病院小児科教授)

環境と小児の健康

東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野  
西脇祐司

閉会の挨拶 館野昭彦